

●●  
特集

## 医療ガスの安全な取扱について

# FRONT ESSAY FRONT ESSAY

医療ガス安全管理委員会では、医療安全院内研修会などを通じて医療ガス取扱いの知識向上を目指し、取扱いリスクの周知、誤接続予防対策の啓発をおこなってきましたが、今一度医療ガスの取扱いについて考えていただきたいと思います。

### ●医療ガスポンベの誤接続予防

平成23年7月25日付けで厚生労働省より酸素ポンベと二酸化炭素ポンベ取り違えに起因する健康被害の防止対策の徹底について通知が出されました。

これまでも同様の通知文が何度となく出されていましたが、今なお医療現場での取り違えが起こっているのが現状です。その多くは、医療従事者の知識不足、勘違い、思い込み、確認不足から起こっており、人為的なミスによって患者に深刻な健康被害が生じています。

これは覚えておいてください！



2011 No. 2  
島田病院医療安全管理委員会が送る  
患者さまと職員に関するニュース

●●  
FRONT ESSAY  
医療ガスポンベの誤接続予防

島田病院では酸素ポンベ（黒色のポンベ）のみを使用しています。しかし、何らかの方法で二酸化炭素等（緑色のポンベ）のポンベが持ち込まれる可能性もゼロではありません。万が一持ち込まれた場合、取扱者に知識がなければ患者の生命に被害を及ぼす可能性があります。



※黒色と違うポンベを見つけた場合はすぐに総務課へ連絡ください。

医療ガスにはそれぞれ特徴があり、取り扱い方を誤ると大事故につながる可能性があります。

- 使用する前に必ずガス名を確認する。
- バルブの開閉は静かに行う。
- 火気と引火性物質に近づけない。
- 容器は立てて倒れないよう固定する。

正しい知識を身につけ、安全に使用する事ができるよう心がけましょう。

### ●安全な名札の装着について

法人内のインシデントレポートより名札が患者の顔にあたる危険性、クリップ型の名札についている安全ピンに関する危険性の報告がありました。

現在、使用している名札は首から下げる形とクリップでポケットに留める2種類があります。首から下げる名札は顔にあたる危険性があるので、患者を抱えるなど、直接ケアを行う職員は、安全ピンを外したクリップ型の名札を使用するようお願いします。

直接ケアを行う職員で、まだ首から下げる形の名札を使用している方は、部署責任者へ報告し、クリップ型の名札へ変更してください。

安全ピンの外しかた



正しい名札の装着例



※安全ピンを外し、正しく名札を装着してください。

総務課 望月 学

### ●最近の個人データ漏えい事件から

企業や病院、学校の個人データ漏えい事件が相次いでいます。紛失や盗難のほか、意図的に持ち出される例もあり、特にUSBメモリの事例が多く見受けられます。

つい最近も、千葉県の某医療機関で患者約850人の個人情報が入ったUSBメモリーを、30代の男性医師が紛失したというニュースがありました。

紛失したUSBメモリーには、患者の氏名と住所、診断名、生活歴など、診断書などを作る際に必要な情報や作成書類を保存するために使用しており、作業は施設内の共用パソコンで行い、普段は鍵のかかる引き出しに保管していたそうです。

紛失の経緯としては、施設内でUSBメモリーをひもで首にかけて業務に当たっていて、休暇明けに使おうとした際に紛失に気付いたようで、施設内で無くしたとみられています。施設側は防犯のためパスワードを設定するよう指導していましたが、男性医師はしていなかったようです。幸いにも現在のところ漏洩被害は確認されていません。

USBメモリーは大変便利な道具です。しかしその反面リスクを伴う道具でもあることも忘れてはなりません。

当法人においても、個人情報漏洩の予防策として、【個人所有の媒体（USBメモリーやSDカード等の記憶装置）使用及び持込を禁止】（法人事務局通達 21年度 第016号）についての通達が出されています。皆さんご存じでしょうか。

これから秋にむけての学会シーズン、個人情報等法人保有情報の取り扱いについては十分注意をしてください。

### ●医療安全に関連する学会のお知らせ

『第6回医療の質・安全学会学術集会』

医療安全学の新たな展開

—科学と社会との対話をめざして—

会期：2011年11月19日（土）20日（日）

会場：東京ビッグサイト

会長：永井 良三

<http://www2.convention.co.jp/qsh2011/>

プランナー：事務部 林

次号は1月です！

発行人 医療安全管理委員会 編集担当 森下 幸子  
発行所 医療法人永広会島田病院内